

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver.6.19R01 → Ver.6.19R02)

2006年9月29日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

UNIXサーバー版が Ver.6.19R02 にバージョンアップされました。
変更内容は以下のとおりです。

製品情報	バージョン	Ver.6.19R02
	対応Webクライアント	GlobalFamily Webクライアント (Ver.4.00R15.02)

不具合修正

[基本機能]

ユーザーパスワードの変更時に、有効なパスワードを設定しても、エラーが発生し、更新できない不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。

[ワークフロー]

遂行依頼メールの文面をパスまたはファイルで指定しているテンプレートで起案された書類を、グループ進捗画面で開き催促メールを送ると、催促メールの文面がデフォルトではなく、テンプレートで指定した遂行依頼メールの文面になる不具合を修正しました。なお、この不具合はVer6.19R00以降発生します。

OSがAIXまたはLinuxの場合、日本語環境で運用されていても、以下のワークフロー用のメール文面が、英語+日本語になっていた不具合を修正しました。

- nwf_back.ms 呼び戻しハ知
- nwf_csvdoc.ms CSV一括出力結果通知
- nwf_csv_err.ms CSV一括出力エラー通知
- nwf_csvnfd.ms CSV一括出力文書なし通知
- nwf_csvrst.ms CSV一括出力URL通知

※バージョンアップでは修正されません。バージョンアップ後に該当するファイルを、サーバー導入先/instからコピーする必要があります。

プロセス設定で変更可能なインスタンスを登録し、次宛先が更新可能となっているのに、開いた書類画面の回付先が変更可にならない不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer6.19R00以降発生します。

メールインスタンスまたはメール送信リンクからインターネット宛にメール送信したときに、メールが未送信のままとなって送信できない不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

処理制限する(非表示)の設定となっているテンプレートを使用して、オフィス業務

から起案された書類が、オフィス業務側の書類件数としてカウントされない不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer6.10R00以降発生します。

[ユーティリティ]

ファイル履歴ログ情報作成ユーティリティ(ls_dlogu)で、出力区分「02」の最新フラグと文書サイズの実出力値が不正となる不具合を修正しました。この修正により、ファイル履歴ログ情報出カツールで、サイズが不正になる不具合も解消されます。

なお、この不具合はVer6.10R00以降発生します。

バイトオーダー変換ユーティリティ(up_swap)で、バックグラウンド処理要求テーブル(LA60)の全文検索データ処理レコードの情報が正しく変換されない不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer5.00R00以降発生します。

全文検索データ再構築ユーティリティ(DFS_PSRM)で、処理要求レコードを削除する際、全検索データ削除要求の一部のレコードが削除されない不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer5.00R00以降発生します。